

# 福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 228

## 床面とベースのわずかな段差につまづき、転倒しそうになる

### 場面の説明

ベッドへ戻ろうとした際、床置き形手すりのベースにあるわずかな段差につまづき転倒しそうになった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り 移動 夜間
-------	---------------------------

主な利用場所	寝室 段差・縁石
--------	-------------

介護保険の種目	手すり
---------	-----

分類コード(CCTA95)	123009(床置き式起き上がり用手すり)
---------------	-----------------------

介護テクノロジー	-
----------	---

二次元バーコード	
----------	--

### 解説

特にすり足の高齢者の場合、ほんの2~3?の段差でも足を引っかけてしまうことがあります。また、白内障など視覚の障害が起因して、段差を確認しづらい場合もあります。いずれにしても、段差を認識しやすい工夫をすることで、安全を高めることができます。

### 参考要因

- 人：すり足で歩いていた
- 人：段差があることに気づいていなかった
- モノ：注意表示がなかった
- モノ：視力が衰えた利用者にはベースが見えづらい色だった
- 環境：部屋が暗くて足元が見えなかった